

出かせぎはしたくない

「地元で働きたい」が73セトも

地元の仕事があればナア

出かせぎ実態調査から

市浦村は、そのほとんどが夏型の出かせぎで、三月から十一月までの出かせぎ者が占めていました。しかし、経済の高度成長、農政の転換等、社会情勢の変化により、農作業を終えてからの冬型出かせぎ者が多く、

なり、年間をとおして出かせぎするようになりました。村では、出かせぎ対策の一環として、女子型の企業誘致や畜産用牛飼育事業など高齢者等肉用牛飼育事業などを取り入れて、労働力の確保につとめてきました。

幸い、女子の地元就労については、ある程度定着しつつありますが、今後は、これらの労働条件の改善、賃金格差等も含めて、その対策を考えてゆかなければならない。

また、出かせぎに対する依存度が高く示されているところから、出かせぎ者の健康管理と介護はもちろん、留守家族の援護対策も推進し、生活基盤確立のため、積極的に取り組んでいくことにしている。

今回の調査では四〇五人が出かせぎ

今回の調査では、三百五十五世帯で四百五人となっている。これを地域別にみると、相内地区から百人、桂川二十五人、太田四十一人、磯元百十九人、磯松六十九人、十三地区から五十一人となっている。前回の調査（昭和五十四年二月十日現在）では、世帯数三百三十一世帯の四百十六人であり、これに比較すると世帯

家庭の「大黒柱」に多い

年齢別では、前回と同じく「四十五歳から五十四歳」の出かせぎ者が二十九・六セト、二十歳から三十四歳が二十一・四セトの順で多く、「十

九歳以下」の出かせぎ者が一・二セトで最も低く、全体的に出かせぎ者と同一比率を示している。家族単位別の出かせぎ世帯

では、五人家族からの出かせぎ者が二十一・九セトと最も多く、次いで四人家族、六人家族と続いている。市浦村の一世帯平均家族は三・九人と核家族化の傾向にあるが、四人家族から六人家族が全体の五十九セトを占めている。

最も多い五人家族の出かせぎ世帯をみると、磯元地区が二十六・五セト、相内二十二セト、太田二十一・四セト、十三が十九・六セト、磯松十七・六セト、桂川地区の十三・三セトの順となっている。

専業としている人が全体の四〇セト

出かせぎ者の主な家業では出かせぎを本業としている出かせぎ専業世帯が全体の四十二セトを占めており、次いで農林業世帯の三十四セト、漁業世帯の十セトの順となっている。出かせぎを専業としている世帯を地域別に見ると、磯元地区の六十六・三セト、磯松六十二・七セト、十三の二十八・二セト、桂川二十・三セト、相内十四・三セト、





「地元の仕事がない」五〇%

「生活が苦しい」十八%

出かせぎする理由については、「地元に適当な仕事がない」が最も多く、全体の四十九・六%を占め、次いで「生活が苦しい」十八・四%。地元は資金が安い。十二・二%の順となっており、地場産業の育成と就業機会の増大がのぞまれている。

出かせぎ継続の意思については、「地元に適当な仕事があればやめる」が全体の七十三

「年間とおして」が多くなった

就労地域は、神奈川県の一六十四人で、全体の十五・八%と最も多く、次いで東京都五十五人(一三・六%)、千葉県四十五人(一三・一%)の順となっており、二十二都道府県にまたがっている。

また、今回の調査でも前回と同じく神奈川県と東京都に集中しているが、同じ都道府県へのグループ就労が多いのが今回の特徴である。就労先の業種では、建設業が二百六十二人で全体の六四・七%を占め、次いで製造業七十四人(一八・三%)、漁業が十五人(三・七%)、農林

業八人(二%)の順となっている。ここでは、前回に比べても横ばいの傾向を示している。就労期間では、九カ月未満の出かせぎ者が百十三人で、全体の二七・九%を占め、一カ月前減八十七人(二四・二%)、六カ月前減八十二人(二十・二%)、一カ年以上が七十八人(一九・三%)の順となっている。

最近の傾向としては、六カ月単位で打ち切ってくる人が多く、失業保険受給後、すぐ出かせぎに行くという、年間とおしての出かせぎ者も少なくない。

10年以上のベテランが全体の47%を占める

同一事業所への就労回数では、初めての方が百三十六人で最も多く、二回目五十九人、三回目五十三人の順とな

また、十回以上、同一事業所に行っている出かせぎ者が三十四人あり、そのうちの十七人が臨元地区で、磯松地区の八人と続いている。出かせぎの経験年数では、十人以上のベテランが、百九十人で、全体の四十六・九%を占めている。続いて、一年二年がそれぞれ三十四人の順となっており。経験年数十年以上の内訳をみると、七十五人の臨元地区を最高に、磯松四十一人、十三が三十八人、相内二十四人、桂川十一人、太田九人の順で、前回と同じく臨元地区が高率を示している。

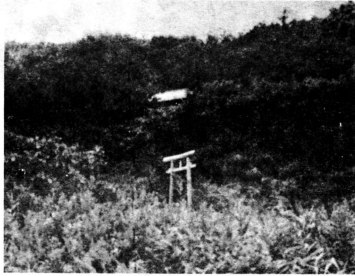
三%を占めている。このことは、経済の低成長、企業の倒産、事業の縮小で求人募集が流動しているためとされる。

届出が少ない安定所の窓口

出かせぎ者の就労経路では「縁故・知人」が四十五・五%、「世話役」十九・六%、「安定期」十三・六%、事業所直行九・六%の順となっている。「縁故・知人」で最も多かったのが相内地区で五十一・九%。次いで臨元五十一・三%であり、「公共職業安定所」をとおして就労した人の十三・五%は、前回、前々回の調査に比べて、だんだん減少している。

今後は、出かせぎ者の保護対策と同時に、安全就労の指導も強化するにせまられている。資金不払い状況では、前回と同じく、一件発生(解決済)としているが、資金不払いや労働条件などのトラブルを防止するために、公共職業安定所を経由して就労することも、役場窓口へ届け出するよう指導を強化しなければならぬ。





浜の大明神の後身だと言われている瀬神社は高台に
巖然と鎮まっている



▶ 35 ◀

瀬神社についで

典の奇蹟

標詣りの瀬神社

大字十三山子町の壇林寺
西土手を登りつめますと、
新岡石材店に突き当たる所、
朱に染められた鳥居に「瀬
神社」の掲額がくつきりと

この瀬神社は往古たの浜
の大明神の後身だと言わ
れています。かの有名な十

人眼を引きまします。鳥居をく
ぐつてから前湖岸に沿えに
南へ約二。秀嶺岩木の姿
は、時により遠く近く見え
るのに向かつて進みます。
本多水戸、瓢箪、狹門、
明神沼の古蹟を右手に、日
本海の怒涛を聞きながら、
三本筋の荷馬車道を歩み尽
きたると、瀬神社が左手の高
台に巖然と鎮まっています。
この道が昔の参道で、弁財
衆が海上安全、商売繁昌
家内安全、大漁豊稔の新願
をこめて、ねじり鉢巻に越
中禰もりりしく元日鉢巻で
つく空気を「ワッショイ」
「ワッショイ」とふるわし
て、標詣をした道でもあ
ります。

前身は浜の大明神

その展望またよく開け、
北は十三の街並のごとく、
驛元の厨子王伝説ゆかしき
雲ヶ山を前景とした連山の
鼻頭に権現崎を望み、さら
に津軽海峡の急潮を渡れば
遙かに渡島の駒ヶ浦の白雲
水平線に色濃き小島、幼の
ように浮ぶ大島の眺めがあ
ります。西は眼下に明神沼
の飛魚を見、埴松の砂丘を
越すと、渺々たる濱海天に
ふくらむのは横たわつて
います。南は神嶺岩木が安
寿姫の伝説を秘めて明神沼

「三往来」に、「屢根はいら、か
を並べ、美しい理で囲まれ
神殿の床は巖然として十四
丈であり、遠く鳥居を立て
その間に切石を敷んで瑠璃
を敷いたのと同じである」と、
うたわれている神社で
す。

右手の湧き水で手を洗い、
口をすすいで身を清め、い
くつかの鳥居をくぐり抜け、
石の階をのぼりつめ、社前
に顔つき拍手を打てば、自
ら遠い昔の神々を融け合う
思いのする所です。

展望うるわし

出船入船の守護神

この明神は、鎌倉、室町
の出船入船を守護した靈社
です。明神沼からの南砂丘
に中世の明神水戸の址を見
うけられる所があります。
唐船、京船、夷船がこの水
戸口を出入して、異国文化
土方文化を津軽に伝えた門
戸です。十三安東水軍船も
この水路を通り、十二湊の
警備を招来した歴史の古い
湊口であったことは郷土人
たるもの銘記して、最善の
努力を尽すと共に、この湊
明神を崇拝して村の発展を
期すべきではないでしょう
か。



津軽のこゝろ

かの部

鴨、鷺、野鳥ついで来た、調子
のよいこゝろ。こゝろ走をつくら
うとしていたら、お跳えむき
に鴨が雛を背負ってきたよう
だといふ驚。
鳥の頭白くなる あり得な
いこと。
鳥の口サ余つた物アな工
鳥の口から余るものない。
体サ進るも風ばり、から
元気のいいこと。何物も自分
をさまたげるものはない、意
気揚々としたさま。
体サ善付ける 悪事をすれ
ば、あとで苦しむ。
空欄ア音高い 内容のない
者ほど空元気がいい。
柄にもない 身分や能力に
くらべて不相応なこと。
空音鳴か犬も食えず 怒り者
はどういうものもないという意
飯交代、飯りにと思つてし
た工事が、そのまま半永久的
に使われる。

ガンジヨ馬サ米洗水、ガン
ジヨ馬はやせ馬のこと、いく
ら飲ませてもちりがないこと
のたとえ。
川の端より火のほうが悪い。

役場の電話は
2111番です

おしらせ

出かせぎの みなさんへ

事故見舞金制度の

あることを知っていますか??

★どんな制度

出かせぎされる方が安心して就労できるよう就労先で事故にあったとき、または留守宅が火災にあったとき見舞金を給付する制度です。

★加入者

この制度は54年5月2日から発足したもので、市浦管内では今年度81名加入していますが加入したい方は、市浦役場（福元・十三出張所）へ申し出てください。

★加入できるひと

1ヶ月以上1年未満居住地を離れて就労し、就労後は居住地に帰る人ならどなたでも加入できます。

★掛 金

掛金は、年間1人600円です。

★見 舞 金

種 別	給付額	事故・災害の程度
死 亡 見 舞 金	50万円	出稼中における死亡
傷 病 見 舞 金	8万円	6ヶ月以上休業して治療を要するとき
	6万円	3ヶ月以上6ヶ月未満休業して治療を要するとき
障 害 見 舞 金	5万円	1ヶ月以上3ヶ月未満休業して治療を要するとき
	20万円	障害により労働不能となったとき
火 災 見 舞 金	8万円	留守宅が半壊以上のとき
	3万円	就労先の宿舎が全壊したとき

十三の砂山まつり

カラオケや子供ねぶた等、

十三の砂山まつりは、8月13日から16日までの4日間行われますが、期間中の行事は次のとおりです。

- ▶ 8月13日
 - 16:00子供ねぶた運行（村内一円）
 - 19:00十三の砂山まつりカラオケ大会（十三保育所園庭）
- ▶ 8月14日
 - 8:00十三の砂山杯少年野球大会（十三小グラウンド）
 - 19:00十三の砂山踊り（十三保育所園庭）
- ▶ 8月15日
 - 8:00十三の砂山まつり杯争奪社会人野球大会（十三小グラウンド）
 - 19:00十三の砂山踊り（十三保育所園庭）
- ▶ 8月16日
 - 11:00山車・みこし・流し踊り運行
 - 19:00十三の砂山踊り（十三保育所園庭）

- 主催 十三東日流会
- 後援 十三の砂山保存会・十三婦人会・十三子供会

十三の砂山
祭りに
参加しよう



児童扶養手当 特別児童扶養手当

昭和56年8月分から
引き上げられます



児童扶養手当、特別児童扶養手当が昭和56年8月分からそれぞれ次の通り引き上げられます。

〈児童扶養手当〉

- 児童1人 31,200円
（従来29,300円）
- 児童2人 36,200円
（同34,300円）

〈特別児童扶養手当〉

- 1級 36,000円
（従来33,800円）
- 2級 24,000円
（同22,500円）



たばこは箱内から買ひましょう 市浦村

ひとこと

山田明美



市浦にも本格的な夏が訪れ、子供たちも楽しい夏休みです。

十三湖や、福元・磯松海岸では、じみ貝を探る家族連れや、海水浴をする人たちが一段とにぎわいをみせています。そのなかには、遠く県外から、市浦を訪れる人も少なくありません。

市浦に住むものとして、観光に来て下さった人たちに、きれいな市浦、やさしい市浦の人々」という印象を持つてほしいものです。

そして、観光を終えて帰る人たちが「来てよかった、楽しい思い出があった」と感じることができるよう、村民一人一人が、村をきれいにするよう心がけ、やさしさをもって観光客に接したいものです。

社教 シリーズ

生涯教育をわがやうに

派遣社教主事 片山 永 繁

⑥

と提携しながら、十一月ごろから実施する予定である。この学級は、これから親になる男女を対象として、家族と両親の在り方、子ども自身の成長等についての家庭教育に関する学習の機会を提供しようというものである。

最近では家族化が進み、家族の中で子育ての先輩がいなくなつた。これらの現象はプラス面もあるだろうが、現在、

子どもたちの非行化が増大している実態からみると、マイナス面もかなり多いと思われる。特に、子育てを中心とした家庭教育に関しては、体験をもとにアドバイスしてくれる先生格の年寄りがいなくなる。親としての自覚も基本的な考え方もないうちに親になり、生まれたとたん子どもにふり

家庭教育の重要性については、前号で多少なりともご理解いただけたかと思いますが、文部省では今年から「明日の親のための学級」を開設することになり、当村でも民生課

とができるように、お母さんは子どもとよく話し合つて、夏休みの生活プランをきんと立てるようにしよう。

その日その日をただなんとなく過ごしてしまつたら、子供の成長にとって、あまりに

となく夏休みが終わつてしまふということがないようにしたいのです。夏休みならではの生活パターン、目標をしっかりと立て、子供の成長の糧となるよう充実した毎日を送らせるよう

母子の



夏休みは、子供にとって、学校を中心としたたんの生活を意味えない、貴重な体験をすることができるといえる機会です。夏休みを有意義に、そして楽しく過ごすこ

夏休み

目標を立て、自主的な活動を

も増し貴重な、時間といえます。遊んでばかりいて、宿題やつた？、子供の方も換けてはいませんか、どこへ連れて行って、どこしたやりと、なん

にしましょう。宿題など期間中に定められた課題をこなすことはもちろんですが、一方で、泳ぎを覚えるとか、植物などの観察記録をとめる、土地のお年寄りに郷土の歴史について話

をきく、体力づくりを心がけよう、といったいわゆる遊びを通じての学習や運動も、夏休みの目標に組み入れたのもです。こうした「野外学習」を通して地域社会にむきこみ、自然との触れ合いを深めることによつて情操を豊かにしていく。こうした試みが実践できる。夏休みならではのことにいえます。子供が自ら目標を立て、自主的にやりぬいていく過程で、強い意思なり、ものごとを見る確かな、目が培われ、子供の成長に大きなプラスになつていくと思われま

が終つており、親として何をすべきかのだろうと反省させられる場合もあるのではないだろうか。そんな親にならないよう、子どもが生まれる前(結婚前)から、親としての自覚なり子育ての在り方なりをしつかり身につけてもらい、家庭教育の中で実践する心構えをもち、子どもにとってよりよい親であつて欲しいという願い、家庭教育の重要な時期は社会的な変化からも、子どもが生まれる以前からスタートしなければならぬという考え方があつてある。多数の参加をお待ちしています。

窓の 戸籍



お誕生

- 佐藤 智子(相内) 陶 維
- 工藤 学(相内) 優
- 白川美智子(十三) 一 明
- 二藤部由香(脇元) 兼一郎
- 葛西 幸枝(脇元) 達也
- 三和 靖昭(相内) 金 春
- 古川 千尋(十三) 司
- 古川 純(太田) 廣 志
- 柳引 松武(脇元) 松 美

こ結婚

- 木村 良一(太田)
- 山内喜美子(青森)
- 住 登志夫(富山)
- 木村ゆかり(太田)
- 葛西 俊幸(脇元)
- 武田 隆子(尾上)
- 佐藤 雅俊(相内)
- 水野 千代(福島)
- 江良 貴(中島)
- 奈良美代子(太田)
- 中島 一郎(十三)
- 和田美美子(小泊)
- 村山 秀基(相内)
- 佐藤 玲子(岩手)

おくやみ

- 三上 善吉(脇元) 83歳
- 三和 靖昭(相内) 0歳

赤ちゃん

高田正嗣さん長男 (十三)
弦ちゃん(8ヶ月)

パパが赤ちゃんの頃とそっくりなんだって。それにしてもボク、ハンサムだろう!!

